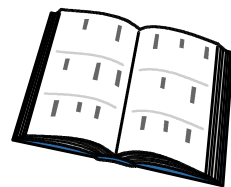


万葉図書・情報室だより51号

新撰字鏡



『新撰字鏡』は平安時代に南都（今の奈良）の僧・昌住が編纂した日本最古の漢和字典です。

寛平四年（八九二）に草案ができ、これに古代中国の『玉篇』（梁の時代の部首引き字書）や『切韻』（隋の時代の韻書）などにより内容を増補して、昌泰年間（八九八〜九〇一）に十二巻にまとめました。今残っている最古の写本は、天治元年（一一二四）に法隆寺の僧によって書写された天治本（宮内庁書陵部蔵）です。

天治本『新撰字鏡』（以下天治本）には、二万字以上の漢字が収められ、一六〇の部首に分類されています。

実際に天治本を使って「鉶」を引いてみましょう。

天治本

（巻六・金部第六十八に記載）

① 鉶
② 唐賢反金賢花也
③ 釵也久志又介豆留
④ 釵也久志又介豆留
⑤ 釵也久志又介豆留
⑥ 釵也久志又介豆留

翻刻

① 鉶
② 唐賢反金賢花也
③ 釵也久志又介豆留
④ 釵也久志又介豆留
⑤ 釵也久志又介豆留
⑥ 釵也久志又介豆留

① 見出しの字

② 「鉶」の音が「反（反切）」によって示されています。

反切は漢字二字で漢字の読み方（音）を示す方法です。

「唐 tou」または「dou」の「t」「d」・「賢 ken」の「en」を組み合わせて「ten」「den」

と発音することを示します。

③ 「鉶」の意味です。

「金花」は金の花模様、黄金の花飾りの意味。

*ミセケチ（見消）

誤って書いた文字を訂正する方法の一つ。

訂正、消去する文字の傍らに「」や「」などの記号を付して、その文字が誤りであることを示します。ここでは「賢」の右傍の「」の印がミセケチにあたるので、「賢」は読まずに「金花也」とであると理解します。

④ 「鉶」の意味です。

「釵」はふたまたに分かれた女性用の髪飾りのこと。

⑤⑥ 和訓を万葉仮名で示しています。

「久志」（櫛）、「介豆留」（とかすの意味）

天治本の他に、享和本（一八〇三年版）、群書類従本（江戸時代後期刊行、塙保己一編）が伝わっています。『新撰字鏡』は漢字の読み方や意味を調べる上で、万葉集研究でも活用

されています。

当館図書・情報室には、臨川書店発行の『新撰字鏡増訂版 天治本享和本群書類従本』を所蔵しています。

○新着図書案内

☆「旅ことば」の旅

（中西進/ウエッジ）

☆東アジアの知―文化研究の軌跡と展望―

（中西進編/新典社）

☆憶良・虫麻呂の文学と方法

（井村哲夫/笠間書院）

☆アジア「歌垣」論

（岡部隆志/三弥井書店）

☆高橋虫麻呂の万葉世界

（大久保廣行/笠間書院）

☆キトラ・高松塚古墳の星宿図

（泉 武/同成社）

☆保田與重郎

（谷崎昭男/ミネルヴァ書房）

利用案内

開館時間―午前十時〜午後五時半

休館日―月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始・展示替日

図書室のご利用は無料です

閲覧でのご利用になります。

コピーサービス 白 黒一枚 10円

カラー一枚 50円

奈良県立万葉文化館万葉図書・情報室

奈良県高市郡明日香村飛鳥一〇

0744-54-1850（代）

